

## 学長のコラム

## 仕事始めのご挨拶

新年明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

今日の新聞紙上に、小学生のなりたひもので、男の子の一位に、学者・博士、女の子の 2 位に看護師が挙げられているのをうれしく眺めました。

今年の抱負ですが、多くの事が変化する平成 31 年度以降に向けて、30 年度中に教育改革をほぼ完成することを第一に挙げたいと思います。新カリキュラムの完成と実施準備や就学ポートフォリオの導入が目玉となるでしょう。次に、昨年夏ころから検討を続け、教職員の皆様にもご意見を頂いています、「将来ビジョン」を 3 月の評議員会・理事会でのご意見をいただいた上、今年度中に成案としたいと思います。皆さんで、共有していただいて、将来ビジョンが示す方向に進んでいきたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。また、昨年採択されなかった、私立大学等改革総合支援事業と研究ブランディング事業を獲得したいと思ひています。私立大学等改革総合支援事業獲得の為には、各種改革の実施による基準点のクリアが必要で、研究ブランディング事業の為には、地域包括連携医療教育研究センターを中心とした実績と特徴ある良い研究計画が必要です。アカデミックスキラボも実績を上げつつありますが、共通教育センターが実施するアカデミックスキル 1, 2, 3 の実施準備にも期待しています。

新アリーナも昨年 12 月にほぼ完成し、今月から 2 月にかけて竣工検査を受けて、特に問題が無ければ、2 月 15 日に引き渡しを受ける予定になっていますので、3 月 9 日の卒業式は、新アリーナで実施する方向で考えています。新アリーナは、本学の共有スペースの狭隘化を解消するために建設したものですので、次のステップとして、現アリーナを、2 階床を持つレストランに改造する工事に着手したいと考えています。1 階は、レストランを主に、2 階は、飲食しながら学習・交流するスペースや、教職員もくつろいで団らんできるカフェなどが造れると良いと考えています。現レストラン跡には、キャンパステラスとアカデミックスキラボを移設し、図書館の機能を拡充します。現在、基本設計を検討いただいており、それが、3 月の理事会等で御認めいただければ、次年度から、詳細設計、工事着工となり、平成 31 年度中の完成を目指します。

3 月 4 日には、短期留学制度の一期生 20 名が、アメリカに出発します。4 月 1 日まで 4 週間のホームステイと英語学修ですが、無事に終えて、笑顔で帰国することを祈っております。

最後に、皆様に予算上のお願ひをしなければなりません。本学は、今まで、特に、予算上の制約をせずに、それなりの収支差額を出してきましたが、今年度末の決算は、厳しいものになりそうです。次年度も、人件費増、新規建物の建設に伴う減価償却費の増加などを主因として、当初から支出予算の縮減をしなければ、収支差額を黒にできない状況です。大変ご無理を申し上げますが、できるだけ教育研究に影響を及ぼさない範囲で、ご協力をお願いいたします。

今から当面の 3 か月間は、残る入試の確実な実施、本学の最大の売りである、高い国試合格率、就職率 100% を実現するために総力を挙げ、明るい気持ちで、卒業式、入学式を迎えられるよう、ご尽力をお願いいたします。皆様のそれぞれの役割の確実な実施によって、目に見える形で大学が良くなっていく、そういう 1 年にしたいと考えていますので、皆様の楽しい働きを期待して年頭の挨拶といたします。



## 学生ボランティア賞 受賞!

本学のボランティアクラブ Rideto と熊本大学のコラボで行っている認知症啓発活動「オレンジプロジェクト」が、国際ソロプチミスト熊本・さくらより「学生ボランティア賞」を受賞しました! 昨年 12 月 20 日(水)にザ・ニューホテル熊本で行われた表彰式には、本学の学生 2 名が参加し、賞状と副賞が授与されました。(文責:学務課)



## 認知症予防応援サポートチーム in 熊保大

本学のリハビリテーション学科理学、生活、言語の各専攻と看護学科の教員、計 8 名で認知症予防応援サポートチーム in 熊保大(代表: OT 爲近岳夫)を結成し、10 月より学生もスタッフとして参加し、本学で毎週 1 回、2 時間程度、西里地区の高齢者の皆様に向けて、認知症予防のための健康教室(オリジナルゲームや頭の体操等)を実施しています。参加者の皆さんからはなかなかの好評で、「毎回楽しみだ、若い学生さんともお話をできて楽しい」「本当に頭を使ってよい体験だ」などの感想をいただいています。5 月まで活動予定が入っていますので、興味がある方は見学等歓迎します。

(認知症予防応援サポートチーム in 熊保大スタッフ一同より)



## 1 月・2 月の主な行事予定

1/26(金)	後期定期試験 1/26~2/5(予備日含む)
2/3(土)	平成 29 年度看護学科同窓会 16:00~ ネストホテル熊本
2/4(日)	一般入学試験(本学・地方会場) *出勤日→振替休日 1/4 (注)先に取得済み
2/8(木)	看護学科キャリア教育セミナー ~2/9(金)まで
2/10(土)	卒業 1 年目同期会「久しぶり、元気かい(会)」
2/14(水)	一般入試・センター利用(前期日程)合格発表 地域包括研修会①19:00~21:00
2/15(木)	地域包括研修会②13:00~14:30
2/24(土)	医学検査学科同窓会講演会 15:00~50 周年記念館 認定看護師交流会(共通フォローアップ研修)予定
2/26(月)	利益相反に関する研修会(教職員対象) 13:00~

## 国家試験日と合格発表日

国家試験名	試験日	合格発表日
臨床検査技師	2 月 21 日(水)	3 月 27 日(火)
理学・作業療法士	2 月 25 日(日)	
言語聴覚士	2 月 17 日(土)	3 月 28 日(水)
看護師	2 月 18 日(日)	3 月 26 日(月)
保健師	2 月 16 日(金)	
助産師	2 月 15 日(木)	

## 杏友会親睦会

12月14日(木)に杏友会親睦会(忘年会)をホテル日航熊本において開催しました。学園永年勤続者・杏友会永年勤務会員への表彰・記念品贈呈や、新任教職員によるユーモア溢れる余興が行われ、大変賑やかな会となりました。(文責:杏友会幹事)



## 学園永年勤続者・杏友会永年勤務会員

学園永年勤続者・杏友会永年勤務会員をご紹介します。

<学園永年勤続者・杏友会永年勤務会員>

- ◆30年 教学支援課 松岡 詠子
- ◆10年 看護学科 教授 堀 律子
- 看護学科 講師 船越 和美
- リハ学科 准教授 與座 嘉康
- リハ学科 講師 楠木 誠
- リハ学科 講師 野尻 明子
- 共通教育センター 教授 渡辺 雄一
- 助産別科 教授 堅野 眞紀子
- 広報課 水野 恵介



<杏友会永年勤務会員>

- ◆10年 教学支援課 森 友子

## 第43回県私立大学協会親善ボウリング大会

12月16日(土)、毎年恒例の私大協ボウリング大会に参加してまいりました。昨年は地震の影響で開催されなかったもので、2年ぶりの大会でした。結果は、8校中7位と精彩を欠くものとなりましたが、大会後の懇親会は、終始和気あいあいとした雰囲気、他校の教職員の皆様との親睦を深めました。また、表彰式では、本学参加者7名中2名がとび賞、1名がBB賞と合計3名が表彰を受けました。とても運が良かったです。来年はより上位を目指すために、事前練習日を設けて試合に臨みたいと思います。(文責:総務課)



\*

*	*
*	*
*	*

## 学友会主催 リーダーズ研修会

12月2日(土)、本学で次年度クラブ部長および学友会役員・運営部の学生総勢63名が参加し、リーダーズ研修会を開催しました。10月に行われた九州地区リーダーズトレーニングに参加した学生によるリーダーシップトレーニングやBLS部によるBLS実技講習会等、学生同士、真剣に取り組む姿が見られました。活動の合間にはアイスブレイクを盛り込み、和やかな雰囲気の中、研修を行うことができ、充実した1日になったのではないかと思います。

(文責:学務課)



## 地域貢献事業(地域看護研究会) ～動機づけ面接学習会(初級編)～

11月23日(木・祝)と12月10日(日)の2日間、キャンパスステラスにおいて、NPO法人つなぐ代表理事の倉本剛史先生を講師にお招きし、動機づけ面接学習会(初級編)を開催しました。本学の学生・卒業生・教職員をはじめ、県内で働く保健師・看護師等、延78名が参加し、「変わりたいけど、変わりがたくない」といった両価性を持つ方へのちょっとした対応のコツについて、学びを深めるとともに、参加者間の交流や意見交換を行いました。

(文責:看護学科助教 荒木善光)



## 私の秘話ヒストリー 「思いを想像する」

今回はリハビリテーション学科生活機能療法学専攻の爲近 岳夫講師に投稿していただきました。

自分の介護予防のため、暇を見つけてはなるべく歩くようにしている。ただ歩くだけではつまらないので、空を眺めて雲を観察したり、小さな歴史の痕跡を探したりしている。雲の形は刻々と変化するので面白い。この前は、加藤清正の留守役を務めた家老の屋敷跡や、細川時代の犬追物跡地を住宅地の中に見つけて興奮したものである。

子供の頃から歴史や音楽が好きで、例えば城の石垣の積み方の美しさや、ピアノの鍵盤から生まれる和音の響きを人並みに楽しんでいて。しかし、私が愉悅を感じるのは、その「物」ではなく、物を作った人の「思い」を想像する時間だ。例えば、銅像も私の興味の範疇であるが、銅像となった人物の功績や背景だけでなく、その銅像を建てた人々の対象者に対する思いは?設置場所にその場所が選ばれたのは何故か?その銅像の視線は何故その方向に向けられているか?物に宿る人の思いに耳を傾け想像する時、物言わぬ物の物語が始まる。